

20140127

## **2014年1月27日　日本テレビ 定例記者会見**

### **《要旨》**

#### **＜発表＞**

##### **・2014年度　地上波　野球中継について**

2014年レギュラーシーズンの読売巨人軍主催ゲームの放送は、地上波で20試合を予定しており、内訳はナイター6試合、デーゲーム14試合である。また、開幕3連戦の巨人対阪神戦は中継する。

そして、BS日テレでは56試合とトップ＆リレーナイターの5試合を含め、合計61試合の放送を予定している。日テレG+は、昨年同様に全72試合を放送する。

##### **・2014年度　BS日テレ　野球中継について**

2014年度の巨人戦中継では、平日巨人戦ナイターの延長時に「マルチ編成」を実施する。今年3月に、BS日テレの本社を麹町から汐留の日テレタワーに移転するのと同時にマスター設備も移転し、日本テレビと連携した運用を開始することで「BS4チャンネル」を「141チャンネル」と「142チャンネル」に分けて放送する「マルチ編成」が可能となる。「141チャンネル」で放送している野球中継が延長になった場合には、その後のレギュラーパン組は予定通りの時間に放送を開始し、一方で延長となった野球中継を「142チャンネル」に切り替えて最大1時間放送する。

BS放送としての機能を最大限に生かして、レギュラーパン組の視聴者の皆様にも、そして野球ファンの方にも満足していただけるよう放送を充実させていく。

#### **1. 視聴率動向と編成戦略**

##### **・視聴率データ**

先週は、全日7.9%で1位。プライムタイム、ゴールデンタイムは共に11.8%で、2位だった。

昨年の年間世帯視聴率は、全日が1位、プライム、ゴールデンは2位で終わった。しかし、年末年始は4週連続で三冠王を獲得し、とても良いスタートダッシュを切ることができた。まだ新年が始まったばかりであり、今後も気を引き締め、視聴者の皆様、スポンサー各社に支持される質の良い番組を作っていく。

## ・編成戦略

日本テレビの編成方針は、世帯視聴率を取り、さらにクライアントニーズにも合った視聴率を取ることである。昨年は、世帯視聴率では全日の一冠で終わったものの、クライアントニーズという点では、かなり良い視聴率が取れた。今年もこの方針を貫いていく。

## 2. 営業状況

### ・放送収入

12月の放送収入は、タイムセールスは対前年比100%を少し上回るという状況であり、逆にスポットセールスは対前年比100%を少し割るという状況だった。トータルでは、ほぼ前年並みである。

タイムは、順調に手堅いセールスができており、年末年始の特番なども非常に好調だった。スポットは前年割れしたが、シェアは少し上げている。

第3四半期の状況は間もなくまとまるが、タイム、スポットとも前年を超え、手堅く放送収入の実績を残している。タイムテーブルの改善が、視聴率だけではなく営業面にも結び付いている結果であると分析している。

## 3. その他

### ・水曜ドラマ「明日、ママがいない」

このドラマは、子どもたちの視点から愛情とは何かを描くことを一番のテーマとしており、養護施設で暮らす子どもたちがいろいろな困難に立ち向かい、悩みながらも力を合わせて幸せや愛情を見つけていく姿、またどうやってつかみ取っていくかを描いていくものである。

ドラマに限らずテレビ番組は大きな影響力を持っていることを私どもがよく認識しているなければならないと思っている。視聴者の声、関係者の声、スポンサーの声にしっかりと耳を傾け、内容に細心の注意を払いながら、より多くの人たちに支持してもらえる番組を作っていくことが日本テレビの基本姿勢である。すべての新番組は、社内の一定のルールに基づき、当然企画等々の説明も詳細に受け、充分議論を尽くし、最終的に編成部が決定するが、今回も同様に放送を決定したものである。

今回のドラマについて関係団体から「子どもたちへの配慮が足りないのではないか」といった趣旨の要望を受けており、この点については重く受け止めている。そういった意見

があることを重々理解した上で、今後のドラマ作りが進められていくのだろうと思っている。最後まで見ていただければ、私たちの意図を理解していただけるであろうという思いである。なお、制作に際しては児童養護施設などの取材、ヒアリングを行っている。

放送開始後、視聴者の皆様からかなりのご意見をいただきしており、「配慮が足りない」といった声がある一方で、施設で育ったという方々から、「是非番組を続けてください。」という強い要望もいただきしており、賛否両論があるという状況だ。

(了)